

積極的な広報活動

2007 年度は、これまでなかなか認知されにくかった「リポジトリ KERNEL」について、とくに学内で理解を得るための広報活動に取り組んだ。
リポジトリ紹介パンフレットや日常使えそうなグッズなどによって、積極的な広報活動が促進され、徐々にではあるが「リポジトリ KERNEL」の認知度アップに寄与すると共に、問い合わせや論文投稿の増加、担当者以外への周知などの成果をあげた。



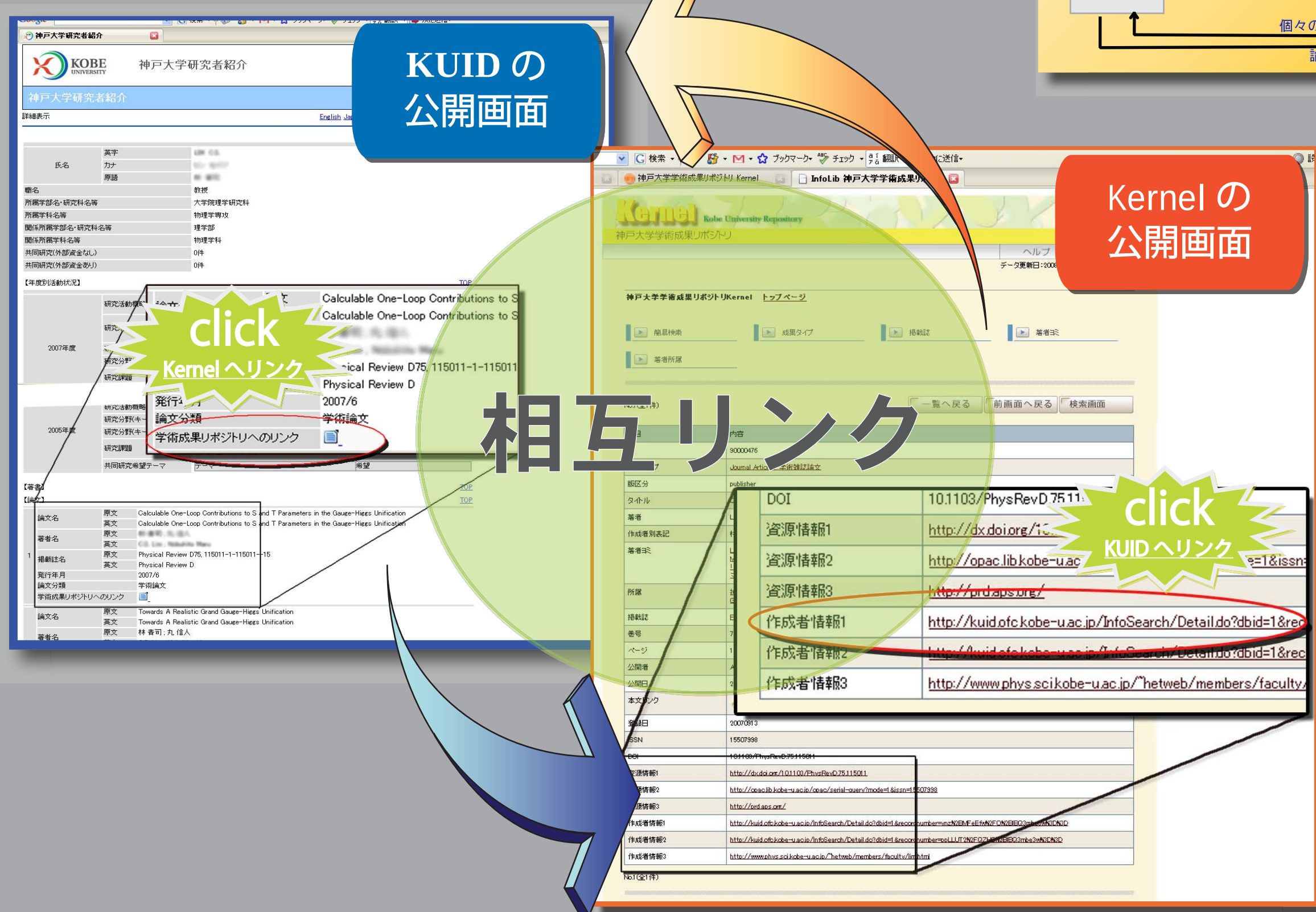
- ・学内外への積極的な PR
- ・研究者自ら論文を投稿！
- ・リポジトリへの問い合わせ増
- ・リポジトリ担当者以外への周知

Kernel と KUID の連携

リポジトリ

研究者データベース

2007 年から一般公開が始まった神戸大学研究者紹介 (KUID) と学術成果リポジトリ (Kernel) の相互リンクが確立されたことによって、より論文へのアクセスが容易になった。



博士論文の公開

神戸大学附属図書館で保管されている 1973 年以降の博士学位論文のデータベース (6,873 件収録) では、リポジトリ Kernel から全文公開しているものはダイレクトに全文が見られるようになった。また、このデータベースでは 2007 年から過去 5 年間分の博士論文についてはその要旨をすべて電子化し、公開している。
これら要旨集を電子化することにより、博士論文のリポジトリへの登録促進や、各学部の事務部への理解も得られることが期待される。

